



No. 36
2012 Summer

山松舎
臨南寺

特集

道元禅師ものがたり

12



京の町を追われて深草へ逃れ 三年の閑居を余儀なくされます

天変地異が襲来

当時の日本は、干ばつや寒波、飢饉、疫病の流行などに見舞われ、鴨川の河原には死体がゴロゴロと打ち捨てられていました。道元禅師が帰国した年（一二二七年）には京都は大地震に襲われました。翌年には鎌倉大地震が起こり、京都は大風雨と洪水で阿鼻叫喚の巷と化しました。

宗教同士の対立も深まり、吉野の金峯山を中心とした修験道の信徒と高野山の真言宗の信徒が争い、騒乱に発展しました。また、比叡山の天台宗の信

徒が浄土宗を開いた法然上人の墓を壊したりしました。

流れとしては、四百年の歴史を持つ旧仏教による、鎌倉時代に新しく興ってきた新仏教への弾圧でした。やがて道元禅師もその渦に巻き込まれることとなります。

建仁寺を追われて

寛喜二年（一二三〇）、この年も関東や岐阜で夏に雪が降り、草木が枯れ、雷や竜巻が襲来しました。こうした天変地異が絶えないのは、新仏教が神の

怒りを買ったためだという噂がまことしやかに広まってゆきました。百年前から恐れられてきた比叡山の僧兵たちが建仁寺にまで侵入、道元禅師の庵を壊してしまいました。

仕方なく道元禅師は京の町から出ていくことを決め、生まれた土地に近い深草にあった極楽寺別院の安養院に移りました。安養院は道元禅師とゆかりのある藤原家と関係の深い寺でした。

この寺に閑居を余儀なくされた道元禅師、最初は「深草閑居夜雨の声」と少しさびしそうな様子も見えますが、間もなく『正法眼蔵弁道話』の執筆に取り掛かります。完成したのは翌年の寛喜三年。四〇〇字詰め原稿用紙から三〇〇枚を超える大作です。

『正法眼蔵』の執筆始まる

「正法眼蔵」という題で執筆された

法話は、こののち二十年間以上にわたって書き続けられ九十五巻に及びます。その最初がこの『正法眼蔵弁道話』なのです。ただ、道元禅師の編纂した『正法眼蔵』には含まれていません。

『正法眼蔵弁道話』では、「坐禅が唯一の正しい道であり、それは誰にも簡単にできるものであるが、実際に行わなければ悟りに到達することはできない」と説かれています。「坐禅が唯一の正しい道である」という主張は、のちのち比叡山によって朝廷まで巻き込んだ大きな騒動となってゆきます。

三年間の閑居のあと、さまざまな人々の後押しを受けて現在の伏見稲荷の近くに興聖寺を開くこととなります。興聖寺では日本で初めて夏の安居が修行されるのですが、その話は次号ということにさせていただきます。



八月はお盆、九月はお彼岸 さまざまな行事を予定しています

臨南寺では、八月一日から棚経を勤めさせていただきます。

十日と十二日には、お墓経を勤めさせていただきます。十日が午前十時から十二時まで、十二日が午後五時から午後九時まで。どちらかご都合のよい日にお越しください。

十二日は、弁財天万灯会を催します。午後六時から九時まで、臨南寺の本堂前はろうそくの揺らめく灯りに包まれます。弁財天様への献灯をご用意していますので、願い事を書き入れ、本堂前にお供えいたしましょう。万灯会はお盆の迎え火でもあります。ご先祖や亡き人へのご供養とともに、皆様の願い事をご祈祷させていただきます。

十六日には、盂蘭盆会施食会



万灯会の夜、境内は幻想的な雰囲気包まれます。

を修します。各家の精霊をご回向させていただきますので、ぜひお参りください。ご都合が悪くお参りできない方は、不参にてご回向をお受けしますので、お問い合わせください。

九月はお彼岸です。二十日に写経会を、二十五日に彼岸会施食会を修行いたします。ご家族そろってお参りくださいますようお願いいたします。

向かつて右の文章が、「迦陵仙音は億金にして居外の地に郷す」左の文章が、「耆闍毘藍は大千にして天中の天に属す」

寺景 南景 百景



ご本尊の両脇の 牌文

本堂の正面、須弥壇の奥に、ご本尊の釈迦牟尼佛の両脇を支えるように牌文があります。深緑地に金文字で書かれたこの文章、何と書かれているのか、積年の疑問でした。このほど、漢字を特定することができました。

向かつて右の文章が、「迦陵仙音は億金にして居外の地に郷す」左の文章が、「耆闍毘藍は大千にして天中の天に属す」

まず「迦陵仙音」について。迦陵というのは、仏教で極楽にいるという想像上の鳥「迦陵頻伽」のこと。何とも言えない妙音を発し、何度聞いても飽きることなく、

お釈迦様の声もそのようであったと言われます。「億金」は非常にありがたいこと。「居外の地に郷す」は彼岸に住んでいるという意味ではないでしょうか。

「耆闍毘藍」について。耆闍は耆闍崛山、すなわちお釈迦様が説法した山「靈鷲山」のことです。葩は花びら、藍はおぼろ。「お釈迦様の周りには花びらがおぼろにたくさん舞っていて、それが極楽の姿であろう」。そんな内容ではないでしょうか。

左の牌の端に小さく「当山中興老師梅峰」の文字が見えます。この欄でも何度かご紹介した第二代住職の梅峰竺三信禅師がこの文章をお書きになったものと推察されます。



左の牌文

右の牌文

カブスカウトの子供たちが 坐禅とぞうきんがけに挑戦

六月二十四日(日)ボーイスカウトの大阪二四九団カブ隊の子供たち十一人が、本堂で坐禅とぞうきんがけにチャレンジしました。子供たちの感想文をお読みください。

「ちがう人がたたかれてる音が大きくてびっくりしました。さいしよは〇分もじつとできないと思っていたけどできました。はじめてのざぜんだったけどあまりむずかしくありませんでした。なぜかあせがいつぱい出ました。せんこうのおいがとてもいいにおいでした。そうじもたのしかった。たたみをふくのがむずかかった。またきてざぜんをしたいです」(奥西智也くん)

「六月二十四日、臨南寺に来てざぜんをしました。わたしは中に入ったとき、二回目だけですごくきんちょううしてしまいました。練習のときもまだあまりリラックスできていなかったけど、本番がはじまったら肩をたたかれ



ないように集中してリラックスできませんでした。あたまの中が真っ白になってしまったけど、集中するのがこんなにかいへんなのがわかってうれしかった。またざぜんをしたい」(清水夏葵さん)

坐禅は作法が見難しそうですが、慣れれば気持ちの良いものです。当寺の早朝坐禅会に参加される方も増えています。団体での坐禅も受け付けておりますので、寺務所にご相談ください。



お彼岸には ご家族で施食会に

九月二十五日、午後二時から三時まで本堂にて彼岸会施食会を修します。各家にゆかりの諸精霊をご供養いたします。ご家族そろってお参りください。ご先祖様をしのび、ご家族の幸せに感謝いたします。

お写経も おすすめです

九月二十日、午前十時から午後三時まで、彼岸会写経会を行います。一文字一文字心を込めてのお写経は、さまざまな功德をもたらします。先祖を供養し、故人の冥福を祈り、浄福を授かりましょう。皆様のお写経は、大本山總持寺に納経させていただきます。



臨南寺行事予定 (八〜九月)

檀家様

○ お墓経

* 八月十日 午前十時〜正午 受付は午前十二時半まで

○ 檀家様

* 八月十二日 午後五時〜九時 受付は午後八時半まで
どちらか都合のよい日にお越しください。

臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。

○ 弁財天万灯会 (本堂)

* 八月十二日 午後六時〜九時(献灯時間)
ご祈禱は二回(午後六時半〜)

二回目午後八時〜 受付は八時まで

あらゆる願いを叶えてくださる弁財天様に、願いを託して献灯をなさいませんか。ご先祖様をお迎えする迎え火にもなります。

○ 盂蘭盆会施食会 (本堂)

* 八月十六日

午前九時〜午後二時 受付は十二時半まで
各家のご先祖様のご供養のため、法要をとりおこない(回向)させていただきます。

○ 秋季彼岸会施食会 (本堂)

* 九月二十五日

午後二時〜三時 受付は二時半まで
お彼岸はご先祖様に感謝しわが身を省みる大事な期間。仏壇に花やおはぎを供え、家族そろってお参りして、ご先祖様に供養をささげましょう。

○ 彼岸会写経会

* 九月二十日 午前十時〜午後三時

墓苑事務所にて受け付けております。お気軽にお申し付けください。費用千円

墓檀家様

○ お墓経

* 八月十日

午前十時〜正午 受付は午前十二時半まで

* 八月十二日

午後六時〜九時 受付は午後八時半まで
どちらか都合のよい日にお越しください。
臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。

ごうだん え

降誕会(花祭り)を

修しました

四月八日(日)

お釈迦様がお生まれになった四月八日。その日をお祝いして感謝をささげる法会を修しました。ルンビニの美しい花園でお生まれになったお釈迦様。誕生のとき、天から龍が舞い降り産湯に甘露な水を注いだという伝説があります。その伝説を模して、本堂前に誕生仏を安置して、皆さんで甘茶を注いでいただきました。参拝の皆様にも甘茶が振る舞われました。



誕生仏に甘茶を注いでいただきました。



マトリ合同法要

心にしみる法話と祈り

五月十三日(日)午後二時から、がつしょう園マトリの合同法要が本堂で営まれました。法話は山形県酒田市にある正常院の副住職である成澤祐吾師、今回が最後の法話になりました。この日のテーマは「今を生きる」。「死と向き合うことが生きることそのもの。今を精一杯生きることが大切。明日死んでもいいように今日精一杯生きていきましょう」。心にしみるお話でした。法話を聞いたあとは、マトリに移り、読経が続くなか、ご焼香し手を合わせていただきました。お墓の継承が難しくなっても供養してもらえるマトリへ入会される方が増えています。



成澤祐吾師

トイレトーパー以外は流さないで

ティッシュペーパーは水に溶けません。ポケットティッシュをトイレに流すと、トイレが詰まってしまう。便座を拭くときも、トイレトーパーをお使いください。ウエットティッシュや紙オムツも絶対流さないでください。よろしくをお願いします。



墓苑をご利用の皆様へ



- 手桶を花立て代わりに使わないでください。ご使用後は必ず元の場所へお戻しください。
- お墓参り以外での駐車はご遠慮ください。境内では最徐行をお願いいたします。駐車中の事故等は一切責任を負いかねます。
- ペットを墓苑内に連れて行かないでください。
- お供物は、カラスなどに荒らされる原因となりますので、各自お持ち帰りください。

編集後記

宇宙から見ると日本列島は夜でもこうこうと明かりがともり、すぐにはっきりと認識できるそうです。テレビもほとんど24時間放送を続けています。原子力発電所を動かす前に、そんな贅沢と無駄を日本中からそぎ落とすことが先ではないかと思いますが、いかがでしょうか。ご感想をお寄せください。(M)

お気軽にご参加ください

早朝坐禅会

毎月第一土曜日
午前六時半〜 本堂にて
*二月・八月は、お休みさせていただきます。

写経会

毎月二十日 午前十時〜午後三時
写経料・千円

『正法眼蔵随聞記』読書会

毎月第二土曜日 午後三時〜
*二月・八月は、お休みさせていただきます。
*いずれも事前のお申し込みが必要です。

「ほ〜っと」36号

平成24年7月

編集・発行： 稜伽林「ほ〜っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

☎ 0120-667-638

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール： rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ： http://www.rinnanji.com